

池山吊尾根より北岳

【日時】 平成30年1月8~10日

【メンバー】 (L) Y川、Ta

【コースタイム】

8日 奈良田 6:45 歩き沢橋 9:55 10:05 池山小屋 13:40 13:55 ボーコン沢ノ頭手前幕営地 15:50

9日 ボーコン沢ノ頭手前 (2650m 付近) 6:25 発 ボーコン沢ノ頭 7:05 7:15

八本歯コル手前ピーク 8:20 8:35 北岳手前縦走路合流点 9:45 10:10 北岳山頂 10:35 10:40

縦走路合流点 10:55 ボーコン沢ノ頭 13:30 13:40 池山小屋 15:00 歩き沢橋 16:50

10日 歩き沢橋 6:50 第一発電所 9:55

【山行概要】

8日 県道入り口ゲートは他の方の報告を参考に無事通過し、まずは奈良田から歩き沢橋まで12kmの県道歩きである。嫌気がさす頃やっと歩き沢橋に到着、池山吊り尾根に取り付く。雪はすぐに現れるが、全面を覆うのは1800m付近からである。池山小屋は2年前より雪は少なく20cmほどの積雪で予想通りである。できるだけ上まで登っておきたいので池山小屋は通過し城峰も通過、森林限界のすぐ手前の2650m付近の幕営跡地にテントを設営した。夜は風が強く、テントが揺れていた。

9日 予想どおり快晴の朝を迎えた。どうなるか分からないが、一応縦走するつもりでテントも撤収して登り出す。ボーコン沢ノ頭手前が強風で、しばし立ち止まる。しかし、ボーコン沢ノ頭へ上がるとさほどでもない。北岳も一見して2年前より雪が少ないことが分かる。八本歯のコルへは、一部で15mのクライムダウン懸垂でロープを使った他はロープ無しで通過した。コルからは急登に入る。上から1人下りてきたので話を聞いてみる。昨日、ガスと強風の中池山小屋から北岳山頂に立ち、北岳山荘に宿泊したそうである。ガスと強風の中山頂まで行ったことに感心する。

北岳の肩で今後の予定を決めることとしていたが、今日は濃鳥小屋までが妥当な行程と思われる。そうになると、明日は少なくとも昼迄は視界が確保できる天候でないと困難な山行となると考えられる。しかし、天気予報では明日の朝から稜線はガス予報なので縦走は取り止めることとし、空身で北岳を往復する。

2年前より雪が少なく、登山道が出ている箇所が多い。前回アイゼンをきしませて通過した鎖のある斜面も、登山道上に雪が少し載っている程度であった。これなら、ガスで強風でも山頂まで行けるであろうと納得した。山頂直前も、2年前は雪壁状でそのまま稜線を進めず左から回り込んだが、今年は稜線を行くことができた。風も弱まり、快晴の北岳山頂でしばし休憩した。

下りは重荷でもさすがに速く、池山小屋に15時に到着、下の県道まで下りてしまうことにする。本日はここまでとし、道路上にテントを張りゆっくと休んだ。

10日 歩き出してしばらくすると雪がちらつき出す。氷瀑見学など寄り道をしながら奈良田まで歩き、町営温泉でゆっくりして帰途についた。



ポーコン沢ノ頭の日の出



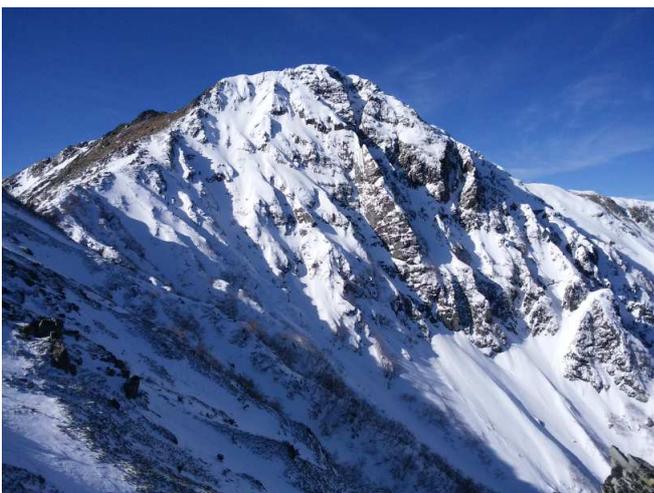
朝焼けの北岳



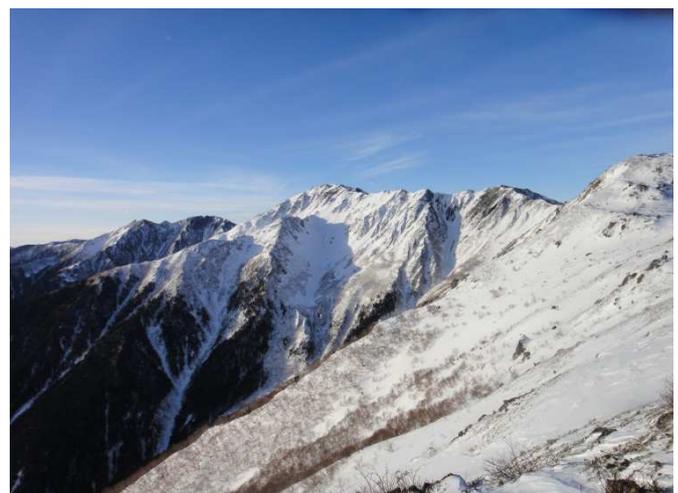
八本歯のコル



北岳山頂のTさん



バットレス



間ノ岳と濃鳥岳